

令和2年度「ひろしまスタイル定住促進事業」の実施状況等について

令和3年5月19日
地域力創造課

1 要旨

県外からの移住者の獲得に向けて、「魅力発信」、「マッチング」、「受け皿づくり」を一体的に展開する「ひろしまスタイル定住促進事業」について、令和2年度の実施状況を報告する。

2 事業の実施状況

コロナ禍における外出自粛等の影響や、ふるさと回帰支援センターでの対面相談の中止（4～5月）等により、全国的に相談件数は減少したが、本県は、他県に先駆けてオンラインセミナーを頻度高く実施するなど、ウイズコロナの移住動向を取り込めるよう各種事業を実施した。

(1) 広島らしいライフスタイルの魅力発信

- デジタルマーケティングを用いて提供する情報を多様化し、AI 移住相談登録者数が大幅に増加
- コロナ禍を踏まえ、市町や企業等と連携した移住フェアをオンラインにより開催

(2) 移住希望者と地域のマッチング

- オンライン相談などを活用した、コロナ禍を踏まえた相談窓口の運営
- AI を活用した相談対応システムの本格運用
- コロナ禍を踏まえ、地域と東京人材をマッチングする移住セミナーをオンラインにより開催

(3) 移住者に対する受け皿づくり

- 市町移住コーディネーター12名の任命など、移住者の受け皿となる仕組みづくり
- 広島県交流・定住促進協議会への参画

3 成果

コロナ禍を踏まえたオンライン上の取組などにより、昨年度を超える相談件数、AI 移住相談窓口登録者数、移住世帯数を獲得した。

区 分		R1 年度	R2 年度	増加率
移住希望地域ランキング 2020 (ふるさと回帰支援センター)		2 位	2 位(セミナー) 6 位(窓口)	—
相談件数 (県の東京相談窓口分)		3,188 組	3,812 組	19.6%
AI 移住相談窓口登録者数 (新規)		900 人	19,589 人	21.8 倍
県外からの 移住世帯数	県・市町移住施策捕捉分	199 世帯	220 世帯	10.6%
	ウェブ上の移住促進システム把握分	—	199 世帯	皆増
合 計		199 世帯	419 世帯	110.6%

4 課題と令和3年度の取組

- 様々なオンラインを組み合わせて活用した施策の実施等により、本県への相談件数及び移住世帯数は令和2年度より増加したが、現時点のウイズコロナの移住動向は東京近県を志向する状況が見受けられる。
- 令和3年度は、デジタルマーケティング・SNS・AI 移住相談・ホームページなどウェブ上の情報で本県に関心を持った移住希望者を、東京相談窓口・移住イベント・市町の移住コーディネーターなどの受け皿につなぐ仕組みの拡充に取り組む。